

会 議 録

|               |  |
|---------------|--|
| 会 議 名         | 山陽小野田市新火葬場建設基本方針検討委員会会議（第3回）   |
| 開 催 日 時       | 平成25年12月18日(水)午前10時07分～午前11時10分  |
| 開 催 場 所       | 山陽小野田市役所3階 第二委員会室  |
| 出 席 者         | 鷗 心治氏、前田良一氏、岡本志俊氏、水田三代春氏、<br>半矢幸子氏、中島嘉哉氏、吉岡信正氏、河口軍紀氏、<br>小柳朋治氏、嶋田正平氏、西山康彦氏、塩田賢二氏、<br>坂田佳也氏 以上13名   |
| 欠 席 者         | なし   |
| 事務担当課<br>及び職員 | 市民生活部環境課生活衛生係<br>川上部長、佐久間課長、幡生課長補佐、木村主査、中川主事   |
| 会 議 次 第       | 議題<br>1 山陽小野田市新火葬場建設基本方針に係る提言について<br>2 その他   |
| 会 議 結 果       | 議題<br>1 山陽小野田市新火葬場建設基本方針に係る提言について<br>環境課が説明を行った。<br>○主な質疑応答は次のとおり。<br><b>委員長</b> ：提言書についての気付き、意見等を発言されたい。<br><b>委員</b> ：検討委員会のすべての意見が記載されているので、異存はない。<br><b>委員</b> ：全委員の意見が網羅されている。異存はない。<br><b>委員</b> ：特に問題はない。<br><b>委員</b> ：委員の意見が良く反映された提言書であり、異存はない。<br><b>委員</b> ：委員の意見をよく反映した提言書で異存はないが、気付きが2点ある。1点目は、広域連携火葬場建設研究会（以下「研究会」という。）や市政説明会を受けて発足した検討委員会での提言書となるので、研究会の報告書や市政説明会の状況の資料を提言書に添える必要があるのか。2点目は、3ページの委員の意見等の5行目「遺族にとって大変な労力となる」を「遺族にとって遠距離となるので大変な労力となる」に、下から3行目「山陽町と小野田市が合併し」を「旧小野田市と旧山陽町が合併し」に、それぞれ変更してはどうか。<br><b>環境課</b> ：添付資料については、これまでの経緯を検討委員会でも説明する際に、資料として配付しているものである。市民アンケートも検討委員会の意見を聴いて実施し、結果を資料として提出している。これらの資料は、提言を検討する上での |

判断材料になったと考え、提言書に添付した。2点目については、御指摘のように変更した方がより分かりやすくなると思う。

**委員**：これまでの経過について、その流れを提言書に記載することは、市民に対して大変わかりやすいが、研究会の報告書や市民説明会の状況を資料として添付することには違和感がある。それぞれ別に冊子があるのだから、提言書にはタイトルのみを記載するだけで良いと思う。また、委員名簿と設置要綱が添付してあるが、本文との関連性が見出せない。1ページの「はじめに」に記載されている検討委員会発足の経緯の中に「(委員名簿参照)」などと記載できないか。

**委員**：全委員の意見が盛り込まれており、異存はない。

**委員**：全委員の意見を反映され、よくまとまっている。異存はない。

**委員**：賛同する。4ページの「提言」の中に「新火葬場の建設方法」とあるが、「方法」を外して「新火葬場の建設」に改めてはどうか。

**委員**：検討委員会は、新火葬場建設の基本方針を検討する会議なので、提言書での表現としては「新火葬場の建設」の方が良い。

**委員**：委員と同意見である。

**委員**：「宇部市との広域か」、「本市での単独か」とうことで、建設方法について議論してきたのだから、「方法」を付けた方が良い。

**委員長**：「方法」が付くと具体的な建設方法をイメージする。単に「建設」にする方が柔らかく、分かりやすいと思うがいかがか。

(異議なし)

**委員**：異存はない。4ページの「おわりに」の内容を実現されるようお願いする。

**委員**：委員の意見をよく集約できている。異存はない。

**委員**：異存はない。

**委員**：異存はない。

**副委員長**：提言書には委員長を除く12名の委員の意見がすべて掲載してある。ここが一番重要である。評価できる。

**環境課**：提言書の中に「山陽斎場の建て替え」という表現があるが、山陽斎場だけを建て替えるように思えるので「山陽斎場での建て替え」に改めたい。

**委員長**：提言書への資料の添付の有無について検討したい。詳

細な資料を添付する必要はないと思うがいかがか。

**環境課**：研究会の報告書は広報や市ホームページを通して市民に周知している。市政説明会の状況についても提言の中で触れている。市民アンケートの結果についても、今後、市の基本方針を決定した際に、広報紙などを通して市民にはお知らせする予定である。これらを踏まえ添付の有無を検討されたい。

**委員**：提言書には検討委員会で配付された資料は添付すべきである。

**環境課**：提言書は独立した形で提出し、検討委員会で配付した資料も参考資料として提言書に添付し、提言書と参考資料をまとめて保存してはどうか。

**委員長**：提言は提言書として提出し、他の資料は参考資料として添えることでよろしいか。その他の文言の訂正は環境課で調整してほしい。

(異議なし)

## 2 その他

○主な質疑応答は次のとおり

**委員**：提言書には委員長と副委員長は署名されないのか。また、いつどのような形で市長に提出するのか。

**委員長**：12月26日の午後1時15分に市長に面会するので、提言書を直接手渡したいと思う。また、委員長から市長にあてた鑑の文書を添えようと思うがいかがか。同席されたい方があれば申し出てほしい。

(異議なし)

最後に、委員長がこれまでの経過などを総括して「市民アンケートの結果や委員の意見等を総合したところ、本市単独による山陽斎場での建て替えを新火葬場建設に関する基本方針とし、本日、第3回会議で本検討委員会の提言書を取りまとめた。12月26日に私から市長の方に提出する。」と発言し、委員への謝辞を述べ、会議を閉じた。

市民生活部長があいさつを行った。